

標記全國手中工組合ニアリハ昭和八年十一月請貢工賃值上運
動、ゼネストヲ敢行シ其ノ結果東京織物同業組合ト東京染色
加工同業組合トノ間ニ手帳請貢工賃跳呂十三錢仕人呂八錢、根
底成立シタルニ又拘ハシス更ノ後一部工場主間ニ取引上、諸種
ノ開係ヨリ同屋側ニ押サレ右決定工賃以下ニテ取引セムトスル
モ、漸次增加ハ來リタルト同時ニ是等ノ工場主ハ亦必然的ニ依
工賃、結果徒勞ノ晨成ヲ為シ可及的高賃金十ル熟練取工ヲ使用
セサル、方針ヲ採ルニ至リ從シテ近年ニ於ケル手中産業ノ衰微
ト相俟シテ年々熟練取工、失業者増大スル、傾向アルニ體ニ之
レカ徒勞晨成ニ因ル熟練取工、失業所止ト前記根底工賃ヲ遵守
セシムル目的ニテニ割値上ノ要求ヲ同屋並工場主ニ為スヘク再
セゼ不卜決行、準備中ニアリタルニ所轄言向署、幹部ニ依リ
十一月三十七日解決セルカ其ノ状況を記一通リ

記

一 手中工組合ノ態度

全國手中工組合ハ十一月十日本部ニ於テ緊急役員總會ヲ開催

シ前記ノ如キ理由並情勢ヨリ工場主組合殊ニ同屋組合ニ對
ハ一戰不交ツルニアラハ到底手中工業員ノ生活权擁護
ハ期シ難シト決定シ同月二十日迄ニ各支部總會ヲ開催各支部
ノ意圖ヲ徹セルカ是亦全支部共本部決定方針支持ニ決定シ

ル為メ能道

（1）徒勞晨成ニ因ル熟練取工ノ失業所止並救済

（2）要求、徹底化

（3）要求スヘク十一月二十日附ノ以テ別記シ、如ク工場主組合並
同屋組合ニ付シ歎願書ヲ提出スルト共ニ之ニカ戰術トシテ
工場主組合ト共同戰線（共同戰線ヲ張ルニトニ依リ同屋側
ニ付スル工賃値上ニ実現性有キ）三十ラス一定期間セズ